

# Sydney

## シドニー・エコシステムの特徴

- ◆ オーストラリア（以下、豪州）は、鉱物資源に依存した経済構造からの脱却を目指して、2015年12月に「全国イノベーション・科学アジェンダ」を発表し、イノベーションや起業家育成を推進。
- ◆ それから5年が経過し、スタートアップ・エコシステムの形成が着実に進んでいる。米スタートアップゲノム社の報告によれば、豪州の最大都市シドニーはエコシステムの評価で世界第23位に位置付けられた。同報告では、「コネクテッドネス（連結性）」が高く評価され、起業家がさまざまなイベントやネットワークを通じて投資家、技術者、専門家などつながることができることが特徴。
- ◆ シドニーはフィンテックやエドテックに強みがあると評価されており、こうした分野で成功するスタートアップが多数生まれている。「世界起業インデックス」では豪州は米、カナダ、スイス、英国に続いて5位に位置付けられ、起業環境の良さは世界的にも評価されている。

## 提携先アクセラレーター

### Innovation Dojo

- ・日豪大学のスタートアップのアクセラレーターとして2016年から活動。
- ・スタートアップがシドニーを中心に事業を展開する支援を実施。
- ・アクセラレータープログラム、オープンイノベーションプログラムなどの実施経験から、現地エコシステム内での主要プレイヤーとのネットワークが豊富。
- ・日系企業による豪スタートアップへの投資相談、日系スタートアップの豪州進出相談など、両国エコシステムを繋いだ実績有り。
- ・2言語（日本語、英語）での対応。
- ・オンラインでのリモートメンタリング、現地での同行も含めて柔軟に対応。



### <メンター例>



### 西中川 薫

イノベーション道場 CO-Founder 兼COO

2016年：ジョシュア フラネリー（現在Rainmaking Japan）らと共にイノベーション道場を設立。日豪の大学をイノベーションを通してつなげるプログラムを提供。

2019年：企業イノベーションのリーダー的存在のFusion LabsにInnovation Consultantとして勤務。日豪の大企業のイノベーションプログラムの作成及び運営を担う。

現在、当地にて日立主催のアクセラレーション・プログラムの策定・運営を担うほか、在シドニー総領事館主催のオープンイノベーションを進める日系企業による「イノベーション・ラウンドテーブル」の主宰を務める。